

拠出金名: 国連環境計画国際環境技術センター(IETC)拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				322,815千円	
国際機関等名	国連環境計画国際環境技術センター (英文名称・略称) United Nations Environment Programme/ International Environmental Technology Centre (UNEP/IETC)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局地球環境課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率(注1)					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成19年度	220,400	1,900		1米ドル = 116円	100
平成18年度	222,000	2,000		1米ドル = 111円	100
平成17年度	107,000	1,000		1米ドル = 107円	100
当該拠出金の目的・用途等	事務局運営経費及びノンイアマークプロジェクト経費				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度決算)	
	国 名	金額 (千米ドル)	拠出率(注2) (%)	当該年度の収入 377万米ドル	
1位	日本	2,783	100.0	当該年度の支出 330万米ドル	
2位				次年度への繰越 47万米ドル	
3位				会計検査機関名	
4位				国連会計検査委員会	
5位				(Board of Auditors)	
(現在の構成員の出身国: 南ア、仏、中)					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>・本センターは、我が国に位置する有利性を最大限活用し、我が国が進める環境分野の活動について、他の国連・国際機関と密接に連携・協力しつつ、途上国、特にアジア地域を対象とした各種プロジェクトの実施を通じ、アジアの途上国への技術移転・能力開発を実施。アジア諸国よりの評価も高く、対アジア外交上も有意義。</p> <p>・近年、本センターは、我が国が進める3R(廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用)イニシアティブ及び産業開発と環境管理を連携させたエコタウン構想を活動の中心と位置づけ、アジア地域を中心にプロジェクトを積極的に実施し、アジア地域での3Rイニシアティブの推進に貢献。また、イラク復興支援において、UNEPの実施するメソポタミア湿原の環境保全のための環境管理技術支援プロジェクトの実施主体として、同プロジェクトを実施し、「国連21賞」を受賞する等、イラク本国を始めとする国際社会から高い評価を得た。</p> <p>・これらの諸点に鑑み、わが国としてIETCの活動を評価している。</p>					
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>					
<p>IETCは、わが国に所在する利点を最大限活用し、我が国の環境分野における知見も活用しつつ、他の国際機関と密接に連携・協力している。また、IETCは、財政基盤強化のための自助努力を続けていると承知しており、これらについて、我が国として評価をしている。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上	11人 うち 0 人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	19 人 58 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
我が国がホスト国であるセンターでもあり、幹部ポストへの邦人職員の送り込み実現に向けて引き続き努力する。					

(注1)平成16年度より外務省と環境省が折半して拠出している。表記は外務省分。

(注2)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(参考)この機関には外務省の他、環境省予算から拠出している。